

令和3年度内部監査結果及び令和4年度内部監査実施計画について

1 令和3年度内部監査の主な結果

(1) 指摘事項 2件

【時間外労働、年休取得の状況（働き方改革関連）】

- 令和元年度に引き続き令和2年度においても36協定で定めた時間数を超える時間外勤務を行った教職員が認められた。（両大学）
- 義務付けられている年5日の年休取得について、未取得の職員（正規雇用教員・有期雇用教職員を除く。）が認められた。（両大学）

(2) 検討事項 2件

【勤怠管理システム運用の状況（働き方改革関連）】

- 有期雇用職員の時間外労働や年休の管理については、様々な採用時期、勤務形態や年休付与日数等を考慮する必要があるため今後、システムの運用方法を検討する必要がある。（両大学）

【教育研究評議会の運営状況】

- 非常勤講師の採用について、教員、非常勤の特任教員及び客員教員と異なる取り扱いをする合理的理由はなく、法人が雇用する以上は当該教員と同様に審議事項とする方向で規程改正を検討する必要がある。（府立大学）

<内部監査結果評価区分表>

区分	内容
指摘事項	違法又は不当な事項で改善すべきもの
検討事項	業務の改善等について検討を要するもの

2 令和4年度内部監査実施計画

実施時期	監査項目	対象機関（所属）
令和4年 4月～ 6月	海外の大学等との協定による連携・学術交流の取組状況	医大（企画広報課、情報・研究支援課） 府大（企画・地域連携課）
7月～ 9月	大学(病院を除く。)委員会、会議等の開催状況	両大学（事務局各所属）
10月～12月	公的研究費（科研費、受託研究費）の執行状況（両大学内部監査部門との連携実施）	両大学の令和3、4年度公的研究費執行所属
令和5年 1月～3月	大学・附属病院事務局の保有現金の取扱状況	両大学（事務局各所属）、 附属病院（事務部各所属）